

古河市の財政状況

歳入 509 億 9,050 万円
(前年度比 0.7% 減)

市の財政は、皆さんが納める税金や国・県からの補助金、地方交付税などをもとに運営されています。

ここでは、私たちの住んでいる古河市の財政状況をお知らせします。

【問】 財政課 (総和庁舎) ☎92-3111

一般会計の概要

一般会計とは、教育や福祉、土木といった行政サービスの経費をまかなうための会計です。

歳入決算額は 509 億 9,050 万円、歳出決算額は 490 億 9,080 万円となり差引額は 18 億 9,970 万円となりました。この中には、翌年度に繰り越して行う事業の経費 (4 億 9,195 万円) も含まれており、その分を差し引いた残りの 14 億 775 万円が古河市の実質的な収支 (黒字) となっています。

分担金および負担金

4億9,303万円
1.0%

諸収入

11億7,239万円
2.3%

地方消費税交付金

24億6,807万円
4.8%

県支出金

32億8,184万円
6.4%

地方譲与税

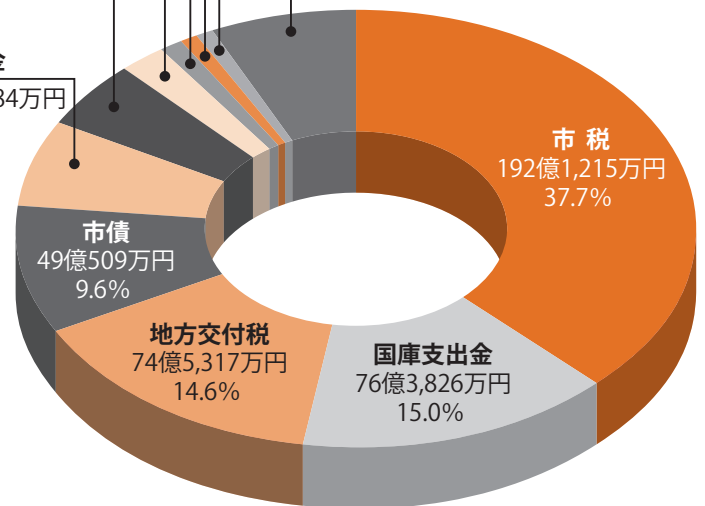
4億8,586万円 1.0%

繰入金

4億6,417万円 0.9%

その他

34億1,647万円 6.7%



固定資産税



55,035円

個人市民税



48,274円

法人市民税



12,129円

市民1人あたりの
市税

133,082円

たばこ税



8,348円

都市計画税



7,266円

軽自動車税



2,030円

※一般会計の歳入額(市税)・歳出額(全体)をもとに、平成28年4月1日現在の人口(14万4,363人)で計算。

用語解説

市税：市民税（個人・法人）や固定資産税など
国庫支出金・県支出金：特定の事業に対する国・県からの補助金

地方交付税：財政状況に応じて国から交付されるお金

市債：国や銀行などからの借入金

地方消費税交付金：地方消費税を財源として、人口などに応じて県から配分されるお金

諸収入：ほかの項目に分類されない収入

分担金・負担金：保育園の保育料など

地方譲与税：地方道路譲与税、自動車重量譲与税など

繰入金：一般会計、特別会計、基金の間で相互に資金運用するもの

その他：使用料、手数料、前年度からの繰越金など

民生費：保育園や障がい者、高齢者など福祉の経費
教育費：小・中学校の運営や、市民の学習・文化活動の経費

公債費：借入金の返済のための経費

総務費：市の全体的な管理事務の経費

土木費：道路、河川、公園などの整備・維持管理経費

衛生費：ごみ処理や病気の予防などの経費

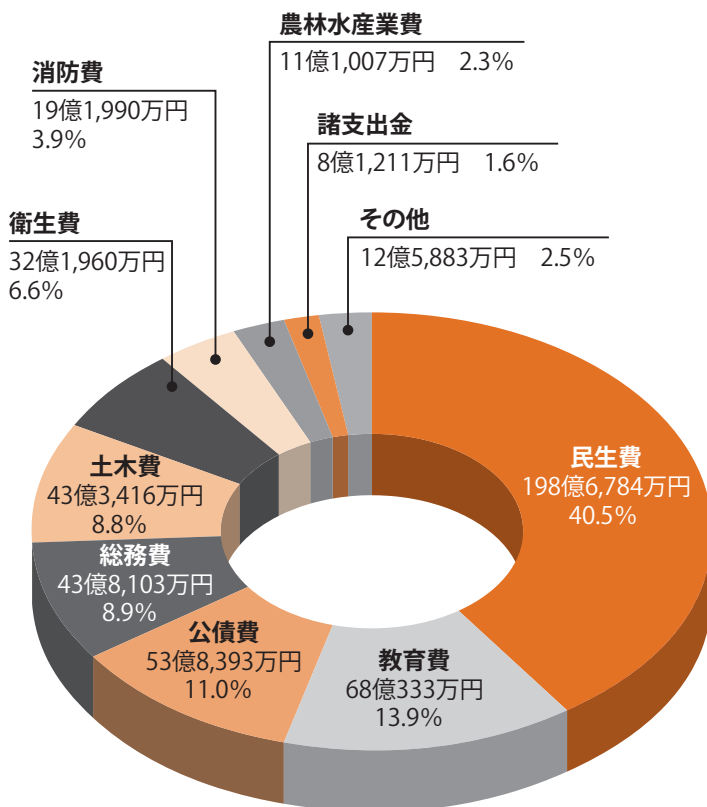
消防費：消防や救急活動、防災関係の経費

諸支出金：基金への積み立ての経費

その他：商工費、議会費など

※公債費、諸支出金以外の経費については、それぞれ職員人件費を含みます。

歳出 490億9,080万円 （前年度比0.2%増）



市民1人あたりに
使われたお金
340,051円

民生費



137,624円

教育費



47,127円

公債費



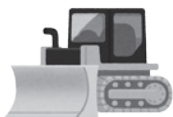
37,294円

総務費



30,347円

土木費



30,023円

衛生費



22,302円

消防費



13,299円

その他



22,035円

特別会計の概要

特別会計(12会計)の決算額を合計すると、歳入が354億6,415万円で、前年度と比べて32億4,431万円(10.07%)の増加となり、歳出が349億9,242万円で前年度と比べて32億6,838万円(10.30%)の増加となりました。

歳出決算の主な増減は、国民健康保険(事業勘定)が31億7,000万円、介護保険(保険事業勘定)が約6億1,500万円、農業集落排水事業が約1億100万円の増加、古河駅東部土地区画整理事業が約3億1,100万円、公共下水道事業が約2億1,800万円、片田南西部土地区画整理事業が約9,900万円の減少となりました。

区分	歳入(A)	歳出(B)	差引額(A - B)
国民健康保険(事業勘定)	193億6,062万円	192億9,543万円	6,519万円
国民健康保険(直診勘定)	5,843万円	5,458万円	385万円
古河福祉の森診療所	1億6,637万円	1億5,210万円	1,427万円
後期高齢者医療	11億2,013万円	11億1,605万円	408万円
介護保険(保険事業勘定)	91億4,618万円	89億9,332万円	1億5,286万円
介護保険(介護サービス事業勘定)	5,296万円	5,117万円	179万円
公共下水道事業	38億3,018万円	36億9,059万円	1億3,959万円
農業集落排水事業	7億4,369万円	7億1,678万円	2,691万円
ゴルフ場事業	1億3,117万円	1億2,541万円	576万円
古河駅東部土地区画整理事業	5億922万円	4億8,428万円	2,494万円
片田南西部土地区画整理事業	1億4,910万円	1億1,661万円	3,249万円
公共用地先行取得	1億9,610万円	1億9,610万円	-
合計	354億6,415万円	349億9,242万円	4億7,173万円

水道事業会計の概要

水道事業は法律において「地方公営企業」と位置付けされており、事業に必要な経費は、原則としてお客さまからいただく水道料金などの収入でまかなう「独立採算の原則」に基づき運営されています。

【問】水道課(三和庁舎) ☎76-1511



●主要事業

- 思川浄水場…ろ過池ろ材入替工事
- 古河浄水場…ろ過池ろ材入替工事
- 配水管整備…未普及地域への拡張工事
石綿セメント管の布設替工事

●業務概要

給水人口	13万8,092人
普及率	93.9%
年間総給水量	1,613万8,151m ³
1日最大給水量	4万7,851m ³

※古河市給水区域に野木町大字野木、大字野渡が含まれています。

●決算

水道水をつくるための予算 (消費税等抜)	
収益的収入	24億6,928万円
収益的支出	20億5,185万円
(収支差額)	4億1,743万円
水道施設を整備するための予算 (消費税等込)	
資本的収入	5,369万円
資本的支出	9億3,731万円
(収支差額)	△8億8,362万円

※資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額は、過年度分損益勘定留保資金等で補てんしました。

平成27年度に 実施した事業

平成27年度に実施した事業の一部を紹介します。

●子育て支援

- ・古河駅西口前に「駅前子育て広場」オープン
- ・児童クラブの整備(古河第二小、古河第四小)
- ・児童発達支援センター「ぐるんぱ」開所
- ・不妊治療費の助成
- ・小児用インフルエンザ予防接種の助成
- ・医療費助成の拡大(20歳の学生まで対象)

●教育環境の向上

- ・古河塾による学習環境の提供(全小中学校)
- ・小学校ICT活用授業の推進
- ・屋内運動場の改築(古河第一小、古河第二小)
- ・学校施設(吊り天井等)の耐震対策
- ・学習環境等の向上(空調設備設置、トイレ改修)

●定住・雇用の促進

- ・企業誘致の推進(企業立地促進奨励金交付等)
- ・若者、子育て世帯への定住促進奨励金交付

●防犯・防災対策

- ・防犯カメラの設置
- ・防犯灯整備の充実
- ・防災行政無線の整備



▲「駅前子育て広場」は「駅前ヤンチャ森」として今年7月にリニューアルオープンしています



▲古河第一小学校の屋内運動場(平成28年3月完成)



▲平成27年度の若者・子育て世帯定住促進奨励金の交付実績は149件



事業評価を実施しました

市では、平成27年度に行った事業を対象とした事業評価を実施しました。評価にあたっては、各担当部署において事業の目的や効果の達成状況をもとに数値指標を設定して評価を行いました。

評価結果は、市公式ホームページおよび右記の市内各施設でご覧になれます。

【問】企画課(総和庁舎) ☎92-3111

■『事業評価書』を閲覧できる施設

【古河地区】古河庁舎市民総合窓口室
古河東公民館、中田公民館
はなももプラザ(地域交流センター)

【総和地区】総和庁舎企画課
ユースセンター総和
とねミドリ館(生涯学習センター総和)

【三和地区】三和庁舎市民総合窓口室
燦SUN館(三和図書館資料館)